



令和七年 年頭所感

公益社団法人日本ペストコントロール協会

会長 山口健次郎



令和7年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

まず始めに、令和6年能登半島地震及び奥能登豪雨で多くの犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を捧げるとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。さらに、地震からの復旧・復興へ歩みを進めていた最中に豪雨災害もあり、度重なるご心労やご不安を拝察致し、ご案内申し上げます。

当協会では、全国の会員や関係者の皆様からお寄せいただいた義援金を、罹災した石川・富山・新潟のペストコントロール協会及び石川県に寄付させていただきました。石川県への寄付にあたっては、馳浩知事を訪問し、被災地での防疫活動について協力の申し入れを行いました。被災地の皆様が一日も早く安心安全な生活環境を取り戻すことができますよう、地元の石川県ペストコントロール協会を中心に環境衛生の改善に取り組んでまいり所存でございます。

さて、昨年5月の定時総会で4期目となる会長職を拝命し、本年度も気持ちを新たに諸事業に取り組んでまいりました。昨年4月には我が業界の職名確立の一つとして、日本標準産業分類に「ペストコントロール業」が新設されました。会長就任時に掲げた認知度向上と社会的地位向上という目標に向けて着実に進展できていることについて、様々な形でお力添えを賜っている関係者の皆様、会員の皆様、執行部の方々に心から感謝申し上げます。さらに、自然災害の頻発化、新興・再興感染症の流行、外来生物の増加等、当協会が担う社会的役割は年々増大しております。社会生活に欠かせない職業であり、「ペストコントロール業」を多くの皆様に知っていただくため、日本標準職業分類の改定へ向けて関係各所へ働き掛けを進め、職名の確立・発展へ向けて鋭意努力してまいります。

このほか、厚生労働大臣認定の団体等検定制度の導入に取り組んでまいります。当協会では業界従事者の資格制度として『ペストコントロール技能師制度』を実施しております。確かな技術とモラルを備えた従事者としての証である本資格を保有していることで顧客に安心感を与え、信頼関係の構築にも繋がることから、制度の普及・促進に注力しており、次のステップとして厚生労働大臣認定の資格化とすることで、更なる信頼度の向上、取得従事者のモチベーションアップ、業界内での差別化、人材確保等へ繋がり、ひいては業界の更なる発展へ繋がっていくと考えております。

また、昨今、ペストコントロール業界では、ウェブサイトの表示価格より高額な費用を請求される消費者トラブルの増加という新たな問題に直面しております。悪質な会員外事業者の社名が消費者庁から公表もされており、このことは国民生活センターも注意喚起を行っており、今後も同センターと協力して悪質な手口による被害の拡大防止に努めてまいります。加えて、当協会でもホームページや機関誌等で信頼のおける47協会害虫相談所の活用、各協会に適切な入会可否判断をするよう通知する等、対応を強化しています。

そのほか、本年も従前からの重点事業を継続しつつ、新しい試みに積極的に取り組み、ペストコントロール業を通じて社会に貢献してまいりたいと考えておりますので、引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

皆様方のますますのご発展とご健勝を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。